

第4工程

前工程により得られた幅3mm人の四角柱状未成品を研磨によって多角柱から円柱に近く加工していく段階である。この際膝の部分の研磨していくことから、4角→8角→16角と2乗倍になっていくのが基本であろうが、研磨開始段階でも正四角柱を呈しているとは限らないための、未成品として残された多角柱はかならずしも4の乗倍にはなっていない。研磨方向は、左下りの斜方向が多く、次に縦方向である。これは右手に持って縦方向に研磨したことを示しており、稜を長軸方向に研磨して取っていったものであろう。周囲をかなり円柱に近い多角柱にした段階で両端を平削に研磨調整している。ただし、ここで問題となるのは長さのことである。第3工程の最終段階での資料138点の平均の長さは1.17cmである。一方、施溝直前のものは0.4～0.7cm程度であり、その長さにかなりの開きがある。また両端を未処理のものは、第3工程最終段階のものに近い数値を示す。このことは、両端調整の段階で長さの調整も行われていることになる。だが、碧玉の中に厚さ1mm前後の円形チップはあるが、両端を切り落としたような碧玉片は検出されていない。長さの調整方法として、二分割する方法と研磨による方法の可能性がある。どちらとも確証は得られないが、前者はかなり行われた可能性がある。その理由として、研磨における作業効率（大きい方が扱いやすい）と量産面で有利であるからである。もちろん、必要とする管玉の長さにより、後者の場合もあったことは否定できないといえよう。円形チップは、円形に近い多角柱の段階で発生したもので、両端の研磨調整の最初の時に、力の入りかたによって生じるものかも知れない。長さ調整として薄すぎるし、あえて割り取るとしては技術的に困難と思えるからである。

第5工程

穿孔を行う段階である。円柱に近い多角柱の段階で穿孔が行われており、その多くは両側穿孔である。多角柱の段階で穿孔作業がおこなわれる理由としては、玉を固定させる意味があると思われる。そこで考えなければならないのが穿孔方法である。幅2mm前後の石に、1mm前後の穴をあけるのであるから、技術的にはかなり高度な作業であると言える。穿孔具としては、磨製玉錐と打製玉錐が出土しており、前者が圧倒的に多い。穿孔方法を示す遺物は出土しておらず、どのような方法が取られたか明確にしない。弓錐・回転台・舞錐を使用する方法などが考えられるが確証はない。ただ、石製の土製の未貫通の円盤製品が出土しており、中世の珠数穿孔を示した絵図²¹を見ると、このような重石を錐の頭に使っており、中世の遺跡で実際に出土している。これと同様の方法が利用された可能性はあるが、どちらにしてもかなりプレを押さえる必要があったと思われる。また、錐を物に当てる場合、回転する錐に物を近づける場合の2つの可能性が有ることも指摘しておきたい。

本遺跡で、玉錐としたものが穿孔具と考えることはほぼまちがいないと考えるが、1つ大きな問題がある。管玉の穴径よりも、玉錐の径のほうが大きいものが多い点である。もちろん、錐は何本もの玉に穴をあけることが可能であるから、その量だけで決めることは困難であるが、太い玉錐が多いことからやはり理解に苦しむ。²¹しかも、回転痕を有している以上未成品とは考えられ

ず、対象物が玉だけではない可能性もあり、今後の課題として残った。

この工程法の中で両側に一度浅く凹みつけられているものがある。これらは失敗とは考えられず、本穿孔の前にあらかじめ凹みをつけていた可能性がある。

第6工程

仕上げ磨きの段階である。稜を取り円柱に磨かれ、完成品は多くが光沢を有する程度に仕上げられ、研磨痕を残している。この段階での磨きは、砥石だけではなく、布状のものと研磨材の存在が推定される。だがこれを示す遺物は出土しておらず、具体的方法は不明である。

まとめ

下屋敷遺跡出土資料をもとに、管玉製作工程の復元を試みてきた。従来知られてきた北陸地方の玉作りと基本的に一致をみるが、細部は違いを認めることができる。大きな違いは、角柱状剥片を作出する前段階で、意図的に板状剥片をつくる段階が存在しない点である。板状剥片が存在しないわけではないが、第2工程の施溝分割の繰り返しの結果にすぎない。つまり、角柱状剥片を作出する一定の型を持っておらず、第2工程である程度の大きさになった段階で、素材に応じた分割を行ったようである。事実、研磨調整も押圧剥離調整も施されない正四角柱の剥片が存在しておらず、第3工程の最終段階でようやく定型化している。第2～第3工程品で図示した例は、比較的整った形を呈する剥片で、多くは不定形な剥片が占めている。このように、角柱状剥片を作り出すまでの分割はかなり荒く行われたと思われる。

実は、この角柱状剥片を作出する方法の違いこそが、玉作り技法における地域差・時間差を示す重要点である。弥生時代前期の玉作り遺跡で知られる長瀬高浜遺跡では、施溝分割法は用いられず縄文時代と同様に攻玉技法によるが、同期でも近江ではすでに施溝分割法が用いられ、薄い板状に研磨し、連続して割り取るという独特の技法が確立している。一方、佐渡周辺の玉作りでは、同期の玉作りの様相が明確ではないが、中期になると施溝分割による技法を用いた玉作りが知られている。これも板状剥片から割り取るものであるが、近江のような薄い板に加工するものではない。同じ日本海側でも山陰や丹後では、中期になると近江と同様の薄い板状剥片に加工して施溝分割する技法が取られている。薄い板から連続して施溝分割する方法は、同一規格で効率的に管玉を量産できる利点がある。ところが、本県ではこの種の技法は今のところ認められない。

以上の点から下屋敷遺跡の玉作りを位置付けしてみよう。板状剥片を作らず荒い割り方をする点では、施溝分割技法を有効に利用しているとは言えない。その点、大中湖技法は材料を有効に利用しかつ同一規格品を量産できる点すぐれ、原産地から離れた畿内でも玉作りを容易にし発達したといえる。施溝分割技法の本来の意味もこの点にあり西日本を中心に広がったものであろう。北陸の玉作りは、原産地であるとともに、縄文時代からの伝統を持つ攻玉技法が根強く残ったと考えられる。時を同じくして翡翠による玉作りも原産地をはなれていく。本県は施溝分割法を持つ西日本的な玉作りと、攻玉技法の伝統を残す東日本的な玉作りの接点に当たる。つまり、下屋敷遺跡の玉作りは、攻玉技法に施溝分割技法を取り入れた当初の段階であり、施溝分割の利点を生かしきれていない玉材原産地的な玉作りであるといえることができる。

6 結語

今回の調査は、開始直後に銅鐸鋳型が出土し、銅鐸分布圏最北端での発見ということで大きな波文を投げかけることとなったが、その後の調査ではこれに関連する遺物の出土がなく、問題が今後に持ち越されてしまった。一方、玉作り関係では、弥生時代では全国的にも最大級の遺跡であることが判明した。管玉および玉錐の製作工程が明らかになると共に、翡翠による施溝分割を取り入れた玉作りも行われていたことが確認できた。翡翠の玉作りが縄文時代では原産地近くの新潟県糸魚川周辺や富山県北部に限られていたものが、弥生時代以降原石の移動による遠隔地での玉作りが行われるようになっていった一つの証明となる。

管玉の中で両端に切り込みを入れるタイプのものと、楔とした石製品が本遺跡が初例であった。切り込みと筒状に穿孔する穴とを組み合わせる形態は、類似例が遼寧型銅剣の茎に認められる。また、『楔』と刃部形態が類似する銅のみも遼寧型銅剣と共伴し、技術あるいは「型」として同時期に存在している。時期は日本では弥生時代前期に北部九州で出土していることから、この時期に併行すると考えられる。本遺跡で出土したこの2つの遺物が、朝鮮半島と関係するかどうかは今後の資料の増加を待たねばならないが、この種の「型」を経験的に知る人間が本遺跡に関与していた可能性があることを考えておきたい。

この他にも、玉鐸の石材として使用されている紅簾片岩が、現在知る範囲では和歌山県紀ノ川上流に原産地がもてめられる³⁾など、他地域との交流を物語る遺物が多い。土器では、搬入品として、東海地方のもの、山陽地方のものが認められる一方で、畿内系播磨土器の出土量が多く見られる割に、畿内・近江地方からの搬入品と思われるものが認められない。このように、本遺跡では「もの」の流通と「人」の交流が複雑にからみ合っている。土器・石器の詳細な分析を通して今後明らかにしていかなければならないが、「玉作り工場」的様相をもつ本遺跡と銅鐸鋳型との関係、東日本的玉作りと西日本系文化とのつながりなど様々な問題を持つ遺跡であり、今後の研究に多くを委ねねばならない。

土の水洗いなどによって、遺物量は微細遺物も含めて莫大な量となったにもかかわらず、整理体制の不備により、本書ではその一部しか扱えなかった。大いに反省すると共に、今後扱いきれなかった資料については、何とか発表の機会を持ちたいと考えている。

また、最後とはなったが調査段階から本書作成に至るまで多数の方々からご助言、ご教示をいただいている。生かしきることができなかったが、心から感謝したい。

注

- 1) 群書類集「七十一番歌合」の念珠掬の絵
- 2) 水洗の際に1mmメッシュを使用したため、直径1mm以下の玉錐がもれた可能性もある。
- 3) 片岩は県内でも産出する可能性があり、産地の特定は今のところできていない。

参考文献

- 愛知考古学談話会 1985 『〈糸紋文系土器〉文化をめぐる諸問題 資料編Ⅰ』
井藤晚子 1983 「近畿」『弥生土器Ⅰ』 ニューサイエンス社
井藤晚子 1986 「畿内の櫛形紋」『弥生文化の研究』第3巻弥生土器 雄山閣
井藤晚子 1986 「弥生土器の紋様 畿内の櫛形紋」『弥生文化の研究3 弥生土器Ⅰ』 雄山閣
井藤晚子 1987 「畿内の櫛形紋土器」『弥生文化の研究』第4巻弥生土器Ⅱ 雄山閣
上田三平 1976 『越前岩の遺跡 復刻版』 福井県史蹟勝地調査報告第一冊
上原甲子郎・磯崎政彦 1968 「北陸地方Ⅱ」『弥生式土器集成 本編2』
大森義一・柴垣勇夫 1975 『朝日遺跡群第一次調査報告』 愛知県教育委員会
京都府立丹後郷土資料館 1984 『丹後の弥生文化』
楠 正勝・南 久和 1984 『金沢市畝田・寺中遺跡』 金沢市教育委員会
向坂鋼二 1986 「弥生土器の文様2 櫛形紋B 東海の櫛形紋」『弥生文化の研究3』 雄山閣
紅村 弘・増子康真他 1979 『東海先史文化の諸問題 (資料編Ⅱ)』
紅村 弘他 1981 『東海先史文化の諸段階 本文編、補足改定版』
紅村 弘 1983 「東海西部」『弥生土器Ⅰ』 ニューサイエンス社
紅村 弘 1983 『弥生時代成立の研究』
紅村 弘 1984 『東海の先史遺跡 綜括編・復刻版』
紅村 弘 1986 「中部日本」『弥生文化の研究』第3巻弥生土器Ⅰ 雄山閣出版
佐原 真 1959 「弥生式土器製作技術に関する二三の考察—櫛形文と回転台をめぐる—」
『私たちの考古学』5巻4号考古学研究会
佐原 真 1961 「畿内地方」『弥生式土器集成本編』
佐原 真 1968 「近畿地方」『弥生式土器集成 本編2』
佐原 真 1968 「畿内地方」『弥生式土器集成 本編2』
島根県教育委員会 1983 「布田遺跡」『国道9号線バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
高橋 保・斎藤基生 1979 『下谷地遺跡』 新潟県教育委員会
寺村光晴 1966 「古代玉作の研究」 吉川弘文館
寺村光晴 1971 「碧玉製管玉類出土遺跡とその意義」(日本玉研究会々誌2)
寺村光晴 1986 「ヒスイ玉製作の遺跡をめぐる」『第1回翡翠と日本文化を考えるシンポジウム発表要旨』
寺村光晴 1987 「硬玉工房址と攻玉技術」『史跡寺地遺跡』 青森町教育委員会
鳥取県教育文化財団 1983 『長瀬高浜遺跡発掘調査報告書Ⅵ』 鳥取県教育文化財団
戸潤幹夫他 1985 「金沢戸水C遺跡」 石川県立埋蔵文化財センター
中司照世他 1986 「古河遺跡調査概報」 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
中研研志 1985 「紡錘車の研究」『石崎曲り田遺跡』 福岡県教育委員会
峰屋晴美 1985 「工具、4石錐」『弥生文化の研究5』 雄山閣
橋本澄夫 1968 「石川県小松市八日市地方遺跡の調査」 石川考古学研究会々誌11
橋本澄夫・荒木繁行 1969 「金沢市寺中遺跡の第一次調査」 石川考古学研究会々誌12
橋本澄夫 1973 「次場遺跡」『羽咋市史 原始古代編』
橋本澄夫 1975 「金沢市下安原海岸遺跡の第一次調査」 石川考古学研究会々誌12
橋本澄夫・南 久和 1975 「金沢市寺中遺跡—第2次発掘調査概報—」『金沢市文化財要7』
橋本澄夫 1983 「北陸」『弥生土器Ⅱ』 ニューサイエンス社
橋本澄夫 1986 「北陸地方における縄文・弥生移行期に関する諸問題」
『日本考古学協会昭和61年度大会研究発表要旨』 日本考古学会
橋本澄夫 1986 「北陸の農耕村落とくらし」『図説発掘が語る日本史3 東海、北陸編』 新人物往来社
浜岡賢太郎 1968 「北陸地方Ⅰ」『弥生式土器集成 本編2』
浜岡賢太郎・谷内尾善司・三浦純夫 1975 『羽咋市古崎・次場遺跡—第3次発掘調査概報』 羽咋市教育委員会
林 和広 1975 『扇谷遺跡発掘調査報告書』 峰山町教育委員会
林 和広他 1977 「途中ヶ丘遺跡発掘調査報告書」 峰山町教育委員会

- 林 和宏 1981 『途中ヶ丘遺跡発掘調査概報（II）』 峰山町教育委員会
 久田正弘 1984 「柴山出村式土器の再検討」 『史館第16号』 史館同人
 久田正弘 1986 「考察」『小島六十荷遺跡』 七尾市教育委員会
 久田正弘 1986 「第23群土器 下野式土器」『真脇遺跡』 能都町教育委員会
 廣嶋一良・田辺昭三・梅川光孝他 1986 「2 弥生時代」『福井県史 資料編13考古』
 久永春男 1966 「弥生文化の発展と地域性—東海—」『日本の考古学III』 河出書房新社
 福島正美 1985 「石川県における終末期の条痕文土器について」『<条痕文系土器>文化をめぐる諸問題』 愛知県考古学談話室
 福島正実他 1987 『羽咋市古崎・次場遺跡』 石川県埋蔵文化財センター
 増山 仁 1987 『金沢市矢木ジワリ遺跡・金沢市矢木ヒガシウラ遺跡』 金沢市教育委員会
 宮本哲郎 1977 『金沢市寺中遺跡—第II・III・IV次調査報告書』 金沢市教育委員会
 宮本哲郎 1983 『金沢市西念・南新保遺跡』 金沢市教育委員会
 森本六爾・小林行雄 1939 『弥生式土器聚成図録』
 湯風修平 1983 「柴山出村式土器について」『北陸の考古学』 石川考古学研究会
 吉岡康暢・荒木繁行 1970 「金沢市畝田弥生遺跡調査予報」 石川考古学研究会々誌13
 李 春寧・朴 泰植 1979 『松菊里工』 國立中央博物館

表1 土 坑 一 覧

遺構 No.	上 端 (cm)		下 端 (cm)		深さ (cm)	方 位
	長軸	短軸	長軸	短軸		
S-003	183	100	163	72	12	N 32.5° W
005	97	52	73	39	17	N 64.5° E
011	509.5		485		10	N 20° W
012	725	157	712	143	14	N 35.5° W
017	314	49		40	12	N 66.5° E
018	483	174.5	470	166	3	N 40.5° W
031	204		195		6	N 13.5° W
032		80				N 58.5° E
035	58	55	42	39	7	N 13.5° W
038	60	44.5	37.5	31	18	N 76.5° E
039	58	55	45	42	22	N 76.5° E
041	134	117	113	101	5	N 11.5° E
042	127	52	113	36	5	N 35.5° W
044	85	59	72	51	10	N 13.5° W
045	119	11	105	103	11	N 13.5° W
048	103	83	87	67	16	N 13.5° W
049	85	60	37	21	9	N 76.5° E
050	206	87			23	N 81.5° E
053	436	75 61			11	N 50.5° E N 58.5° W
054	246	61			3	N 55.5° E
059	53	42	43	33	19	N 13.5° W
060	76	59	58	40	3	N 13.5° W
061	100		61		14	N 13.5° W
062		157		129	9	—
063	413		387		22	N 83.5° E
064		318		263	8	—
066		194		153	18	—
067		88		70	30	N 12.5° W
068	190	98	124	83	5	N 13.5° W
069	107	102.5	83.5	73	33	N 76.5° E
070	124.5	78	100	61	10	N 66.5° E
072	110	68	83.5	55.5	11	N 17° E
073		174		146	19	—
074	246	198	117	85	35	N 13.5° W
076	168	84	134.5	54	8	N 34° E
077	143.5	82	115	45	9	N 18° E
079	126	58	66	36	23	N 76.5° E
080	100	56	80	30	27	N 13° E
082	73	33	53	21	13	N 5.5° E
083	65	554.5	55	42.5	12	N 87.5° E
084	94	56	84	47	10	N 70° E
085	165	104	138	84	31	N 7.5° E
086	69	59	53	39	14	N 13.5° W
087	249	75	196	59	25	N 76.6° E
S 088	(112)	8				—
089	115	87	93	65	6	N 31.5° W
090	92	55	64.5	35	8	N 5.5° E
091	172	83	152	71	7	N 78° W
092	111	49	96	33	9	N 52° E
093	121	51	105.5	39	24	N 53.5° E
094	91	70	75	53	8	N 13.5° W
095	151	103	132	79	30	N 1.5° E
096	190	74	126	36	35	N 2.5° W
097	62	46	47	33	8	N 27.5° E
102	201	67	169	45	18	N 47.5° E
105	277	130	208	86	35	N 43.5° W
106	180	69	152	57	8	N 74° E
107	(120)	106	82	72	22	N 21.5° W
108	170	93	133	62	21	N 48.5° W
111	100	66	79	50	15	N 1° E
112	530	141	397	75	39	N 36.5° W
113	173	153	119	100	24	N 13.5° W
117	170	76	142	42	11	N 75° W
118	181	71	138	47	9	N 13.5° W
119	185	127	168	107	20	N 40.5° W
122	138	109	89	79	27	N 45.5° E
123	536	195	515	183	27	N 22.5° W
124	143	63	112	37	26.5	N 13.5° W
125	94	59	76	42	7	N 76.5° E
126	192	88	146	63	17	N 42.5° W
127	143	93	113	64	14	N 79.5° W
129	121.8	83	92	64	20.5	N 13.5° W
130	645	103	640	92	14	N 69.5° E
131	98	93	72	62	24	N 47.5° W
132	119	112	101	96	12	N 40.5° W
133		70		63	25	N 75° E
134	(340)	60		36	121.5	N 30° W
135	77	50	59	31	12	N 29.5° E
136	213	102	133	38	73	N 19° E
137	(100)	47	(92)	34	4	N 74° W
138	104	91	88	54	11	N 46.5° W
139	154	124	132	110	8	—
140	(274)	80	262	68	12	N 32.5° E
141	115	66	90	54	17	N 33.5° W
142	194	119	149	90	31	N 54.5° W
143	74	58	57	50	24	N 13.5° W
145	156	99	137	86	14	N 65.5° W
147	72	69	48	48	46	N 13.5° W

遺構 No.	上 端 (cm)		下 端 (cm)		深さ (cm)	方 位
	長軸	短軸	長軸	短軸		
S-148	80	63	41	39	40	N 76.5° E
149	127	83	120	80	19	N 13.5° W
150	119	49	106	49	14	N 36.5° W
151	130	91	104	72	15	N 76.5° E
152	382.5	82	309	73.5	23	N 27.5° W
154	139	73	107	56	41	N 44.5° E
155	119.5	64	100	52	11	N 83.5° E
156	381	61	366	46	18	N 76.5° E
157	112	46	97	27.5	11	N 18.5° E
158	69	54	38.5	34	29	N 13.5° W
159	85	71.5	66.5	63	7	N 13.5° W
160	181	96	165	83	22	N 36° W
161	130	96	105	90	13	N 25.5° E
162	340	156		132	24	N 60° E
163		78		65	12	N 76.5° E
164	160	84	80	34	53	N 13.5° W
165	206	76	194	70	11.5	N 44° E
166	113	63	98	50	14	0
167	62	54	54	44	25	N 59.5° E
168	128	116.5	99.5	94	30	N 53° W
169	113	72	95	59	13	N 40.5° W
170	204	70	151.5	47	11	N 26° E
171	311.5	81	272.5	68	21	N 58.5° W
172	135	87			11	N 13.5° W
173	108	42	84	30	6	N 13.5° W
174	69	49	51	34	11	N 13.5° W
175	394	212.5	383.5	175	27	N 66.5° W
176	473	52	442	35	15	N 46.5° E
177	107	76	93.5	60	14	N 35.5° W
178	78	58	58	50	9	N 21.5° E
179	301	197	255	151	32.5	N 56.5° W
180	121	102	101	74	45	N 76.5° E
181	⁵¹² (184)	160	⁴⁷² (170)	126	6	N 40.5° W
183	162	88			5	N 19.5° E
184	135	110	98	77	23	N 12.5° E
186	(228)	100	174	70	30	N 75° W
187	111	87.5	73	57	18	N 76.5° W
188	286	74.5	129	36	24	N 52° W
189	95	79	63	47	10	N 12.5° E
190		120		80	12	-
191	73	53	57	25	10	N 34.5° E
192	132	52	120	42	16	N 71.5° W
193	542	115	493	81	13	N 50.5° E
194	172	81	151	52	12	N 45.5° E

遺構 No.	上 端 (cm)		下 端 (cm)		深さ (cm)	方 位
	長軸	短軸	長軸	短軸		
S-195	212	180	134	92	40	N 25° E
197	606	²⁰⁰⁰ 146	586	¹⁶⁴¹ 76	²⁰¹ 30	N 66° E
198		66		43	9.5	N 70.5° E
200	121	79	94	50	10	N 76.5° E
201	79.5	78			6	N 76.5° E
202	444	83	200	27	17.5	N 58.5° E
203	208.5	34.5	184	26.5	13	N 50.5° E
205		(136)		65	19	-
206	161	98.5	109	62	19	N 37° W
207	114	103	80	49	30	N 31.5° E
208	53	40	42	38	28	N 86.5° W
210	61	43	52	30	13	N 8.5° W
211	232	61	190	39	17	N 58.5° E
212	97	52	80	37	10	N 88° E
213	144	62	127	48	9	N 48.5° E
214	53	34	29	14	9.5	N 13.5° W
216	93	65	83	50	8	N 47.5° E
217	97	87	83	70	7.5	N 33° E
219	447	¹⁰⁸ 56	420	⁷⁴ 24	20	N 49.5° E
220	256	154	219	124	50	N 76.5° W
221	99	64	91.5	44	17	N 76.5° E
222	117	90	69.5	64.5	22	N 76.5° E
223	177	83	123	62	26	N 76.5° E
224	113	75.5	71	37	7	N 25° E
225	145	109.5	100	65	22	N 24° E
226	⁹⁵ 82	⁷⁸ 62	⁷⁸ 57	⁴⁰ 27	¹² 22	N 19.8° E 76.5° E
227	75	49			12	N 48° E
228		76	110	52	13.5	N 73.5° E
229				56	15.5	N 30.5° E
231	128	(86)	74	44	16	N 24.5° E
233	215	143	172	86	13	N 76.5° E
234	(124)	75	102	57	13	N 16.5° W
235	(112)	(68)	(96)	43	11	N 85.5° E
236	228	150	203	121	22	N 16.5° E
237	138.5	86	120	71	25	N 13.5° W
239	95	76	64	64	22	N 59° W
240	107	84	93	73	10	N 13.5° W
241	126	120	98	80	33	N 47° W
242	264	44	242	30	8	N 38° E
243	326	104	254	76	29	N 50.5° E
244	240	185			5	N 26.5° E
245	220	37	205	27	23	N 28.5° E
246	108	85	88	67	12	N 76.5° E
247	200	79			9	N 76.5° E

遺構 No.	上 端 (cm)		下 端 (cm)		深さ (cm)	方 位
	長軸	短軸	長軸	短軸		
S-249	131	96	107	69	22	N 7.5° E
252	231	92	195	76	51	N 65.5° W
254	117	92	92	64	21	N 13.5° W
255	70	64	47	44	11	N 36.5° W
256	93	79	66	59	14	N 13.5° W
257	119	57	92	40	23	N 26° E
258	102	88	88	78	7	N 17° E
259	96	64.5	72	46.5	9	N 76.5° E
260	101	94	79	64	14	N 13.5° W
261	253	108	234	98	19	N 36° W
262	116	108	86	98	19	N 60.5° W
263	112	70	99	64	10	N 48.5° W
264	173	110	165	104	17	N 83° W
265	406	60	380	44	18	N 56° E
267	76	52	46	27	7	N 20.5° E
268	254	111	146.5	68	37	N 27.5° E
270	155.5	58	148	45.5	36	N 58° E
271		121		97	23	—
273	190	122	170	116	13	N 80.5° E
275	265	201	142	139	38	N 23° E
276	101	100	69.5	62	23	N 9.5° E
277	150	106	113.5	64	30	N 54.5° E
279	151.5		88	52	28.5	N 13.5° W
280	472	273	446	263	26	N 85.5° W
281	130	102	97	80	8	N 14.5° E
282	189	123	133	84.5	20	N 1.5° W
283	60	50	42	34	43	N 76.5° E
284	153	96	120	63	26	N 84.5° W
285	163	154	127	98	15	N 13.5° E
286	163	73	112	35	24	N 4.5° E
287	166	59	130	39	16	N 80.5° E
288	134	87	116	61	27	N 75.5° W
289	233	190	205	160	12	N 13.5° W
291	147	130	129	115	21	N 76.5° E
292	124	120	96	89	14	N 87.5° W
293	204	113	174	74	7	N 45.5° W
294	279	181	119	114	36	N 89.5° E
295	376	89	339	72	23	N 13.5° W
296		65		85	16	N 71.5° W

遺構 No.	上 端 (cm)		下 端 (cm)		深さ (cm)	方 位
	長軸	短軸	長軸	短軸		
S-297	274	241			13	N 52.5° E
298	320.5	144	301	112	24	N 13.5° W
299	149	48	123	33	20	N 13.5° W
300	147	119	101.5	65	25	N 10° E
301	686	92	572	78	21	N 9.5° W
303	715	252	691	230	26	N 32° W
304	84	83	68	63	19	N 13.5° W
305	612	253	583	237	20	N 60.5° W
306	133	75	112	62	32	N 61° W
307	133	70	114	47	9	N 1° W
308	236	128	131	81	33	N 34.5° W
320	232	125	190	116	25	N 26° W
333	141.5	100	99	75	22	N 33° W
335	227	87	219	78	8	N 41° W
336	116.5	64	106	42	9	N 84.5° E
337	348	134	330	110	19	N 7° W
338	207.6 220	153 78	183 114	132 44	33	N 85.5° E N 86.5° E
339	820	80			21	N 7.5° W
340	112	92	94	80	20	N 47° E
345	220		38	22	10	N 39° E
348	79	77	74	63	14	N 76.5° E
352	124	95	100	86		N 41.5° E
353	135	115			9	N 20.5° E
354	243	50	225	38	10	N 57.5° W
355	155	101.5	123	49	11	N 72° W
356	102	47	77	22.5	18	N 31° W
357	120	105	90	87	7	N 13.5° W
358	111	68			3	N 76.5° E
359	166	105	140	77	13	N 46.5° E
360	115	75	91	54	4.5	N 73.5° E
361	107	56	68	42	44	N 52.5° E
362	174	139.5			14	N 73.5° W
364	91	71	53	50	39	N 56° W
365	128		98		15	—
366	(110)		82	26	50	N 77.5° E
393	152	150	68	62	12	N 62° E
394	142	63	132	57	12	N 41.5° E
404	195	48	151	31	10	N 36.5° E
408	148	54	130	38	10.5	N 39.5° E

表2 掲載土器観察表(SD-001出土土器)

(復)は図上復元数値

番号	出土地区	器種	法量(cm)	施文・施文具	調整 外面 内面	色 調	焼成	胎 土	備 考
1	N-2	壺	口径14.5	口縁部:刺突(ハケ) 口縁部:刺突(竹管) 頸部:平行線文 :波状文	ハ ケ ナ デ	黄灰褐色	普通	赤砂粒を含む	口縁部のみ残存
2	N-2	壺	口径22(復)	口縁部:短沈線(櫛) 刺突(ヘマ?),指頭指圧	粗いハ ケ ナ デ	灰白色	普通	白・黒色砂粒を含む	口縁部片
3	N-2	壺	口径18(復)	口縁部:斜文刺突 口縁内面:波状文(櫛)	ハ ケ ハケのちナデ	灰黄褐色	普通	茶・黒砂粒	残存 1/4
4	M-1	壺	口径17.6	口縁部(表):刺突(櫛) 頸部:平行線,波状文, 刺突(櫛)	ハ ケ ナ デ	明褐色	不良	白色粗砂粒	口縁部残存 1/4
5	M-1	壺	口径18.2(復)	頸部:平行線 波状文(櫛)	ハ ケ ハ ケ	淡黄色	普通	灰色砂粒	口縁部片
6	N-1	壺	口径19(復)		フヲ研磨 ハケのちナデ	灰黄色	普通	白色砂粒	口縁部片
7	N-2	壺	口径18.5(復)	口縁部:刺突,沈線 口縁内面	ハケのち一部ナデ 粗いハケのちナデ	淡黄色	不良	灰色砂粒	端面に黒斑
8	N-2	壺	口径15.5(復)		ハケのちナデ 不 明	淡黄色	不良	赤色砂粒	口縁部片
9	N-2	壺	底径 8.5 体径23.9		ナ デ ナ デ	淡黄褐色	良好	白・黒色砂粒	1/4 残 存
10	O-3	甕	器径16.3 口径16.6 底径 5.3	口縁:刺突(ヘマ)	ハ ケ ナデ削り	灰褐色	普通	白・黒・赤色 粗砂粒	ほぼ完形 内面に厚さ1 mmのフケ付着
11	N-2	甕		口縁:刺突,沈線 口縁内面:波状(竹管)	ハ ケ ナ デ	暗黄灰色	普通	白色粗砂粒	口縁部片
12	M-1	甕	口径15.2	口縁:刺突 胴部:平行線,波状(櫛) 口縁内面:波状(櫛)	ハ ケ ハケのちナデ	褐灰茶色	良好	黒色粗砂粒	外面スス付着
13	M-1	甕	口径22(復)	口縁:刺突(ハケ) 口縁内面:羽状刺突	ハ ケ ハケのち一部ナデ	灰褐色	良好	白色粗砂粒	口縁部片
14	N-2	甕	口径22.6 胴径18.9	口縁:刺突(ハケ) 肩部:波状,平行(櫛) 刺突(フマ)	ハ ケ ハケのちナデ	褐黄灰色	良好	白・黒・赤 砂粒	外面スス付着
15	N-2	甕	器高26.3 口径21.7		ハ ケ ナ デ	淡灰褐色	良好	黒色砂粒	残存 4/5
16	M-1	甕	器高26.3 口径19	肩部:刺突(ハケ)	ナデ, ゲズリ ナ デ	淡灰白色	良好	白・黒砂粒	内面スス付着 残存 3/4

表3 磨製玉錐計測表

番号	出土遺構	計測値(cm)		重量(g)	材質	先端の形	回転痕	欠損	備考
		長さ	幅						
1	湿地帯	0.98	0.19	0.07	安山岩	B・B	Bが $\frac{1}{3}$ 、Bが $\frac{2}{3}$	—	
2	"	0.67	0.15	0.02	"	A・D	A周辺、Dが $\frac{2}{3}$	—	
3	"	0.52	0.15	0.02	"	A	—	—	
4	S D-001	1.23	0.19	0.08	"	B	Bが0.6cm	a-1	
5	"	0.47	0.20	0.03	メノウ	C	—	c-3	
6	"	0.54	0.25	0.05	安山岩	A	A周辺		
7	"	0.66	0.29	0.09	凝灰岩	B	Bが0.4cm	a-1	
8	S-067~090	1.33	0.27	0.17	安山岩	F	Bが $\frac{2}{3}$		
9	"	1.08	0.24	0.08	"	A	A周辺	a-1	多角錐状
10	"	0.52	0.18	0.03	"	B	Bが0.1cm	a-1	
11	"	0.44	0.16	0.02	"	A・D	Dが $\frac{2}{3}$	c-1	
12	S-106	1.04	0.06	0.05	"	C	—		未使用
13	S-108	0.68	0.26	0.08	"	B・C	Bが0.1cm	c-1	
14	S-136	0.33	0.24	0.02	メノウ	—	—	a-2	
15	S-138	0.88	0.16	0.24	安山岩	D・C	Dが $\frac{1}{2}$	—	
16	S-145	0.74	0.20	0.05	"	A・D	両端周辺	—	
17	S-154	1.39	0.17	0.08	"	B	Bが $\frac{1}{3}$	—	片側楔状
18	S-167	0.51	0.13	0.01	"	B	B周辺	a-2	
19	S-175	1.34	0.14	0.05	"	C・C	—	—	未使用
20	"	0.64	0.12	0.01	"	D・B	Dが $\frac{2}{3}$ 、Bが $\frac{1}{3}$	c-2	
21	S-179	0.42	0.16	0.07	凝灰岩	A・B	A周辺・B周辺	—	
22	S-181	0.54	0.12	0.01	安山岩	C・E	Eが $\frac{1}{3}$	—	不整六角柱
23	S-195	0.45	0.19	0.03	"	A・F	Aが $\frac{1}{3}$ 、Fが $\frac{2}{3}$	—	
24	S-202	0.40	0.18	0.02	"	A・C	—	c-1	未使用
25	S-220	0.32	0.14	0.01	"	A・C	A周辺	—	
26	"	1.04	0.19	0.07	"	A	Aが $\frac{1}{3}$	—	回転痕を有する方が細い
27	S-231	0.89	0.12	0.02	"	C	C周辺	a-1	先端部に回転痕なし
28	S-237	0.50	0.13	0.01	"	A・B	Aが $\frac{2}{3}$ 、Bが $\frac{1}{3}$	—	
29	"	0.43	0.20	0.02	"	—	—	a-2	
30	S-249	0.88	0.11	0.02	"	A	先端部	a-1	
31	S-251	0.95	0.23	0.09	"	A	Aが0.6cm	a-1	
32	"	1.00	0.14	0.03	"	C	—	a-1	未使用
33	"	1.10	0.13	0.03	"	F	Fが $\frac{1}{3}$	c-1	
34	S-263	0.71	0.11	0.02	"	A	Aが0.5cm	a-1	先端に回転痕なし
35	S-272	0.55	0.18	0.03	"	C・C	C周辺	c-1、d	先端の回転痕不明
36	S-275	0.54	0.13	0.01	"	A・C	—	d	
37	"	0.50	0.16	0.02	"	A・C	—	c-1	回転痕は入から認められるがわずかに先端の回転痕は不明

番号	出土遺構	計測値(cm)		重量(g)	材質	先端の形	同 軸 線	欠損	備 考
		長さ	幅						
38	S-280	0.71	0.16	0.03	安山岩	A・A	Aが $\frac{1}{2}$ 、Aの周辺	c-2	
39	"	0.41	0.16	0.02	"	C	—	a-1	
40	S-281	0.47	0.14	0.02	"	A・C	A周辺	c-1	
41	S-285	0.48	0.14	0.02	"	A・C	Aが $\frac{1}{2}$	c-1	
42	S-289	0.99	0.17	0.04	凝灰岩	C	—	a-1	
43	S-290	0.51	0.18	0.03	安山岩	C・E	A周辺	d	
44	S-295	0.91	0.17	0.04	"	B	Bが0.5cm	a-1	
45	S-299	0.63	0.18	0.03	"	A	Aが0.2cm	—	基部は細かく剥離
46	"	0.42	0.15	0.02	"	—	—	b-3	
47	"	0.59	0.15	0.02	"	C・E	Eが0.1cm	—	
48	S-305	0.37	0.14	0.01	"	A	—	a-1	基部欠
49	S-308	0.45	0.15	0.02	"	D・C	D周辺	—	
50	"	0.50	0.19	0.03	"	A	—	c-3	基部残存
51	S-313	0.42	0.16	0.02	"	D	Dが0.2cm	a-1	
52	"	0.95	0.13	0.03	"	B・E	Bが $\frac{1}{2}$ 、Eが $\frac{1}{2}$	—	
53	"	0.49	0.20	0.03	"	C・F	Fが $\frac{1}{2}$	d	基部の方が細い
54	"	0.95	0.13	0.03	"	—	—	a-2	基部板状先廻り
55	"	0.69	0.18	0.04	"	—	—	a-2	
56	"	0.48	0.15	0.02	"	A	Aの周辺	a-1	
57	"	0.39	0.18	0.02	"	E	全体	a-1	
58	"	0.90	0.28	0.12	"	A・E	Eが全体、Aが $\frac{1}{2}$	d	
59	S-314	0.78	0.22	0.06	"	E・D	Eが $\frac{1}{2}$ 、D周辺	—	
60	"	0.51	0.20	0.04	"	—	—	a-2	
61	S-315	0.41	0.18	0.02	"	A	Aが $\frac{1}{2}$	a-1	
62	"	1.09	0.24	0.11	"	—	—	c-3	先端欠 基部も細かく剥離
63	"	0.72	0.17	0.03	"	—	—	a-2	
64	"	0.48	0.16	0.02	"	A	—	a-1	
65	S-317	2.55	0.28	0.28	メノウ	—	—	c-3	
66	"	0.43	0.16	0.02	安山岩	E・C	—	a-1	基部に施溝痕残る
67	S-319	0.42	0.19	0.03	"	A・C	Aが $\frac{1}{2}$	—	
68	S-321	1.02	1.21	0.08	"	C・C	折れた方が0.4cm	a-1	先端部のみ欠
69	"	0.57	0.16	0.03	"	C・C	Cが $\frac{1}{2}$	c-1	未使用
70	"	0.47	0.18	0.03	"	E	Eが $\frac{1}{2}$	a-1	
71	"	0.47	0.16	0.02	"	A・D	Dが $\frac{2}{3}$	c-1	Aの二部欠
72	"	0.32	0.15	0.01	"	B	全体	a-1	
73	"	0.37	0.13	0.01	"	—	—	a-2	
74	S-323	0.78	0.14	0.03	"	B	Bが0.6cm	a-1	

番号	出土遺構	計測値(cm)		重量(g)	材質	先端の形	回転痕	欠損	備考
		長さ	幅						
75	S-323	0.54	0.17	0.03	安山岩	E	E周辺	a-1	
76	"	0.44	0.17	0.02	"	—	—	a-2	
77	"	0.37	0.18	0.02	"	A・E	Eが $\frac{3}{4}$	d	
78	S-325	0.96	0.19	0.06	"	A	Aが0.8cm	—	
79	"	0.49	0.22	0.04	"	A・C	A周辺	—	
80	S-327	0.55	0.19	0.03	"	A・E	全体	—	
81	"	0.45	0.17	0.02	"	B	B周辺	a-1	
82	"	0.58	0.25	0.06	"	D	Dが0.2cm	a-1	
83	S-332	0.68	0.14	0.02	"	A・C	Aが0.5cm	d	
84	"	0.48	0.17	0.02	凝灰岩	A	A周辺	a-1	
85	S-334	0.75	0.22	0.06	安山岩	C	Cが0.2cm	a-2	cも部分欠損
86	"	0.35	0.17	0.01	"	C・D	D周辺	c-1	
87	S-337	0.46	0.15	0.02	"	A・B	A周辺、Bが $\frac{3}{4}$	d	
88	S-338	0.60	0.20	0.04	"	B	Bが0.1cm 折れた方が0.2cm	a-1	
89	"	0.45	0.12	0.01	"	A・F	Fが $\frac{1}{4}$	—	
90	S-351	0.75	0.21	0.05	"	B	Bが0.35cm	a-1	
91	"	0.40	0.15	0.01	"	—	—	a-2	
92	S-375	0.53	0.17	0.03	"	C	—	a-1	
93	S-389	0.48	0.17	0.02	"	A・A	Aが $\frac{1}{2}$ 、A周辺	c-1	
94	S-391	0.54	0.17	0.02	"	A・C	Aが $\frac{3}{4}$	c-1	
95	S-394	0.45	0.21	0.04	"	B・A	全体	d	
96	S-396	0.55	0.13	0.02	"	—	—	a-2	
97	S-400	1.16	0.19	0.06	"	A・C	—	c-1	
98	S-401	1.02	0.22	0.08	メノウ	A	A周辺	c-3	
99	S-406	1.08	0.11	0.02	安山岩	B	Bが0.4cm 折れた方が0.3cm	a-1	
100	"	0.59	0.17	0.03	"	C	—	c-3	
101	SH-1	0.35	0.18	0.02	"	E	Eが0.2cm	a-1	
102	"	0.61	0.21	0.04	"	C	—	c-3	
103	SH-2	1.19	0.19	0.07	"	B・C	Bが $\frac{1}{2}$	c-1	
104	"	1.03	0.20	0.07	"	C	Cが $\frac{1}{4}$	a-1	
105	"	1.91	0.24	0.20	"	B・C	Bが $\frac{3}{4}$	—	
106	"	0.79	0.24	0.07	"	E・C	E周辺	c-2	
107	"	0.64	0.17	0.03	"	A・C	Aが $\frac{3}{4}$	—	
108	No不明	0.55	0.16	0.02	"	A・C	Aが $\frac{3}{4}$	—	

表4 管玉未成品(第5・6工程品)計測表

番号	出 遣 土 構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損	番号	出 遣 土 構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径						長さ	幅	穴径			
1	湿地帯	0.71	0.29	0.13	0.08	両側	c-1	45	S-244	0.99	0.44	0.17	0.33	片側	—
2	"	0.48	0.21	0.13	0.04	"	—	46	S-249	0.58	0.22	—	0.04	—	—
3	"	1.95	0.33	—	0.33	—	—	47	S-251	0.64	0.25	0.11	0.06	片側	c-3
4	"	1.80	0.32	—	0.33	—	—	48	S-262	0.49	0.30	—	0.06	—	—
5	"	1.63	0.36	—	0.31	—	—	49	S-264	0.94	0.23	—	0.10	—	—
6	"	0.72	0.37	—	0.18	—	—	50	"	0.49	0.31	0.12	0.05	片側	a-1
7	"	0.64	0.34	0.12	0.10	両側	—	51	S-265	0.32	0.21	—	0.02	—	—
8	"	0.61	0.35	—	0.14	—	—	52	"	0.31	0.20	—	0.02	—	—
9	"	0.49	0.24	—	0.05	—	—	53	S-266	0.57	0.24	—	0.06	—	—
10	SD-001	0.53	0.25	—	0.07	—	—	54	S-274	0.38	0.23	—	0.03	—	—
11	"	0.67	0.37	—	0.16	—	—	55	S-275	0.50	0.23	—	0.02	—	b-3
12	"	0.64	0.29	—	0.08	—	—	56	"	0.37	0.26	0.13	0.01	片側	b-2
13	"	0.56	0.28	—	0.04	—	b-2	57	S-277	0.67	0.23	—	0.07	—	—
14	S-095	0.84	0.28	—	0.12	—	—	58	S-279	0.36	0.27	0.15	0.04	両側	—
15	S-112	0.46	0.24	0.11	0.04	片側	c-1	59	"	0.66	0.42	—	0.06	—	b-3
16	S-122	0.55	0.23	—	0.04	—	—	60	S-280	0.60	0.32	—	0.11	—	—
17	S-128	0.42	0.29	—	0.07	—	—	61	S-281	0.55	0.27	—	0.08	—	—
18	S-134	0.53	0.29	0.13	0.07	両側	—	62	S-282	0.70	0.29	—	0.03	—	b-1
19	S-136	0.45	0.21	0.13	0.02	両側	c-2	63	S-285	0.10	0.24	—	0.07	—	—
20	S-141	0.77	0.30	0.12	0.11	片側	c-1	64	S-288	0.76	0.30	0.20	0.11	両側	—
21	S-145	0.40	0.30	—	0.03	—	—	65	S-289	0.61	0.26	—	0.04	—	c-1
22	S-147	0.28	0.24	—	0.02	—	b-2	66	"	0.81	0.25	—	0.09	—	—
23	S-168	0.45	0.29	—	0.07	—	—	67	S-290	0.51	0.27	—	0.07	—	—
24	S-175	1.47	0.36	—	0.35	—	—	68	S-296	0.42	0.27	0.12	0.05	片側	—
25	"	0.70	0.26	0.10	0.05	片側	c-1	69	"	0.38	0.26	—	0.04	—	—
26	S-179	0.91	0.33	0.16	0.11	両側	c-3	70	"	1.32	0.60	—	0.85	—	—
27	"	0.67	0.33	—	0.07	—	b-1	71	"	0.85	0.32	—	0.07	—	b-2
28	"	0.55	0.27	0.13	0.07	片側	—	72	"	0.33	0.25	—	0.01	—	b-2
29	S-189	0.45	0.25	—	0.06	—	—	73	"	0.90	0.32	0.17	0.15	両側	—
30	S-197	0.61	0.23	—	0.06	—	—	74	S-299	0.45	0.27	—	0.06	—	—
31	S-200	0.73	0.26	—	0.09	—	—	75	S-301	0.69	0.26	—	0.08	—	—
32	S-202	0.72	0.30	—	0.09	—	—	76	"	0.41	0.32	—	0.08	—	—
33	S-205	2.23	0.43	—	0.78	—	—	77	S-309	0.35	0.23	0.11	0.03	両側	—
34	S-211	0.61	0.24	—	0.07	—	—	78	"	1.25	0.31	—	0.22	—	—
35	"	0.88	0.59	—	0.46	—	—	79	"	0.26	0.27	0.11	0.01	片側	b-2
36	S-219	0.80	0.34	—	0.12	—	b-3	80	S-310	0.50	0.30	—	0.07	—	—
37	S-220	0.43	0.26	—	0.06	—	—	81	"	0.70	0.25	—	0.08	—	—
38	"	0.88	0.26	—	0.12	—	—	82	"	1.03	0.28	—	0.11	—	a-1
39	"	0.49	0.27	—	0.07	—	—	83	"	0.46	0.30	—	0.08	—	—
40	"	0.60	0.25	—	0.07	—	—	84	S-314	0.65	0.29	—	0.07	—	—
41	"	0.33	0.25	0.12	0.03	両側	—	85	"	0.35	0.27	0.12	0.01	片側	b-2
42	S-225	0.28	0.28	0.14	0.07	片側	c-1	86	S-315	1.04	0.23	—	0.10	—	—
43	S-229	0.31	0.31	0.18	0.07	両側	—	87	"	0.36	0.27	—	0.04	—	a-2
44	S-231	0.25	0.25	—	0.05	—	a-1	88	"	0.50	0.28	—	0.05	—	c-3

番号	出土構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径			
89	S-315	0.64	0.30	—	0.11	—	—
90	"	0.84	0.21	—	0.04	—	a-1
91	S-316	0.27	0.22	—	0.02	—	—
92	S-317	0.52	0.27	—	0.05	—	a-1
93	"	0.31	0.31	—	0.04	—	a-1
94	S-319	0.61	0.25	—	0.08	—	—
95	"	0.59	0.29	—	0.07	—	—
96	S-320	0.25	0.21	0.10	0.01	片側	b-1
97	S-321	1.09	0.26	—	0.13	—	—
98	"	0.61	0.30	—	0.10	—	—
99	"	0.42	0.27	0.15	0.06	片側	—
100	S-321	0.48	0.24	0.07	0.05	片側	a-1
101	"	0.51	0.35	0.16	0.05	両側	b-2
102	S-323	0.60	0.30	—	0.10	—	—
103	"	0.54	0.32	—	0.10	—	—
104	"	0.59	0.25	—	0.07	—	—
105	"	1.27	0.35	—	0.21	—	—
106	S-326	0.44	0.23	—	0.04	—	—
107	S-327	0.99	0.24	—	0.08	—	a-1
108	"	0.95	0.25	—	0.07	—	—
109	S-328	0.96	0.28	—	0.14	—	—
110	S-332	0.72	0.24	0.13	0.06	片側	—
111	S-334	0.47	0.26	—	0.05	—	—
112	S-338	0.46	0.22	—	0.02	—	a-1
113	S-341	0.60	0.32	0.09	0.12	片側	—
114	"	0.85	0.31	—	0.14	—	—
115	S-347	0.60	0.26	—	0.07	—	—

番号	出土構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径			
116	S-351	2.25	0.43	—	0.76	—	—
117	"	0.82	0.37	—	0.17	—	b-3
118	S-352	0.73	0.30	0.12	0.11	片側	—
119	S-361	0.53	—	—	0.02	—	b-2
120	S-362	1.71	0.25	—	0.17	—	—
121	S-365	2.54	0.75	—	2.57	—	—
122	S-370	0.63	0.26	—	0.06	—	—
123	S-372	1.31	0.24	—	0.14	—	—
124	S-375	0.57	0.24	0.12	0.06	片側	—
125	S-379	0.90	0.29	—	0.14	—	—
126	S-386	0.63	0.27	—	0.02	—	b-2
127	S-390	0.17	0.21	—	0.01	—	a-2
128	S-391	0.30	0.27	—	0.03	—	—
129	S-399	0.70	0.27	—	0.10	—	—
130	S H-1	1.87	0.50	0.25	0.77	両側	—
131	"	0.89	0.37	—	0.08	—	—
132	S II 1C	0.48	0.31	—	0.08	—	—
133	"	0.79	0.37	—	0.08	—	—
134	"	1.48	0.30	—	0.22	—	—
135	S H-2	0.67	0.31	—	0.09	—	a-1
136	H-0区	0.63	0.26	0.11	0.07	片側	c-1
137	H-1区	0.82	0.28	—	0.11	—	—
138	H-2区	1.87	0.73	—	1.81	—	—
139	I-1区	1.81	0.40	—	0.37	—	—
140	"	0.70	0.28	—	0.10	—	—
141	K-4区	0.45	0.28	—	0.07	—	—

表5 管玉計測表

番号	出土構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径			
1	湿地帯	0.80	0.30	0.18	0.09	両側	—
2	"	0.80	0.27	0.13	0.08	"	—
3	"	0.45	0.23	0.12	0.03	"	—
4	"	0.40	0.22	0.14	0.02	"	—
5	"	0.45	0.25	1.01	0.02	"	b-1
6	"	1.29	0.25	0.16	0.11	"	—
7	"	0.59	0.28	0.14	0.03	"	b-2
8	"	0.29	0.22	0.14	0.01	"	b-3
9	SD-001	0.62	0.29	0.15	0.08	"	—
10	"	0.56	0.26	0.16	0.05	"	—
11	"	0.36	0.30	0.16	0.04	"	—
12	S ⁰⁶⁷ —090	0.45	0.19	0.11	0.02	"	—

番号	出土構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径			
13	S ⁰⁶⁷ —090	1.25	0.24	0.16	0.10	両側	—
14	"	0.52	0.28	0.14	0.03	"	b-1
15	S-095	0.47	0.24	0.15	0.04	"	—
16	"	0.50	0.20	0.12	0.03	"	—
17	"	0.39	0.20	0.11	0.01	"	b-2
18	"	0.23	0.21	0.11	0.01	不明	b-2
19	S-096	0.39	0.19	0.10	0.02	両側	—
20	S-105	0.53	0.26	0.12	0.05	"	—
21	"	0.32	0.27	0.17	0.03	"	—
22	S 107	0.58	0.33	0.15	0.04	"	—
23	S-112	0.54	0.19	0.11	0.03	"	—
24	"	0.48	0.23	0.15	0.04	"	—

番号	出 土 構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径			
25	S-112	0.30	0.22	0.10	0.01	不明	b-2
26	"	0.28	0.25	0.12	0.02	両側	a-1
27	"	0.75	0.19	0.12	0.01	"	b-1
28	"	0.74	0.19	0.10	0.01	"	b-1
29	S-122	0.61	0.35	0.16	0.05	"	b-1
30	S-123	0.41	0.25	0.13	0.04	"	-
31	"	0.62	0.34	0.15	0.04	"	b-1
32	"	0.24	0.21	0.12	0.01	"	b-2
33	S-124	0.79	0.28	0.16	0.08	"	-
34	"	0.45	0.23	0.12	0.04	"	-
35	S-130	0.56	0.28	0.16	0.06	"	-
36	S-134	0.57	0.19	0.09	0.03	"	-
37	S-136	1.22	0.41	0.18	0.33	"	-
38	"	0.77	0.66	0.27	0.26	"	b-2
39	S-137	0.55	0.22	0.13	0.04	"	-
40	S-142	0.75	0.31	0.13	0.02	"	-
41	S-147	0.37	0.27	0.12	0.01	不明	b-2
42	"	0.20	0.21	0.11	0.01	両側	b-2
43	S-154	0.88	0.26	0.08	0.07	"	c-1
44	S-161	0.58	0.28	0.14	0.02	"	b-1
45	S-163	0.69	0.29	0.16	0.08	"	-
46	S-164	0.44	0.18	0.10	0.01	"	c-1, d
47	"	0.40	0.27	0.13	0.03	"	a-1
48	S-175	1.39	0.24	0.16	0.11	"	-
49	"	1.13	0.25	0.15	0.10	"	-
50	"	0.47	0.22	0.11	0.02	"	b-1
51	"	0.61	0.25	0.13	0.05	"	-
52	"	0.64	0.25	0.14	0.06	"	-
53	"	0.30	0.22	0.14	0.01	不明	b-3
54	"	0.47	0.25	0.12	0.02	両側	b-1
55	S-179	1.31	0.24	0.16	0.09	"	c-1
56	"	1.32	0.24	0.16	0.11	"	-
57	"	0.57	0.22	0.14	0.02	"	c-1
58	"	0.86	0.26	0.11	0.09	"	-
59	S-180	0.52	0.20	0.13	0.01	"	b-1
60	"	0.84	0.26	0.14	0.08	"	-
61	S-184	0.30	0.21	0.15	0.01	不明	b-3
62	S-186	0.79	0.32	0.18	0.11	両側	-
63	S-220	0.36	0.18	0.10	0.02	"	-
64	S-222	0.41	0.25	0.14	0.03	"	a-1
65	S-235	0.32	0.22	0.11	0.02	"	a-1
66	S-252	0.42	0.20	0.12	0.02	"	-
67	"	0.72	0.25	0.14	0.02	"	b-1
68	S-254	0.33	0.23	0.12	0.02	不明	a-1
69	S-254	0.44	0.32	0.17	0.06	両側	-
70	S-260	0.91	0.51	0.20	0.31	"	c-1
71	S-264	0.36	0.22	0.12	0.03	"	-
72	S-266	0.55	0.32	0.16	0.08	"	-
73	S-276	0.49	0.28	0.16	0.03	"	b-1
74	S-277	0.75	0.21	0.12	0.02	"	b-1
75	"	0.47	0.23	0.09	0.02	"	b-2
76	S-279	0.65	0.29	0.14	0.04	"	b-1
77	S-281	0.24	0.21	0.12	0.01	"	b-3
78	S-284	0.58	0.28	0.15	0.07	"	-
79	S-289	0.63	0.24	0.12	0.05	"	d
80	"	0.54	0.23	0.12	0.04	"	d
81	"	0.24	0.32	0.14	0.01	不明	b-3
82	S-294	0.74	0.27	0.14	0.08	両側	-
83	"	0.70	0.22	0.14	0.05	"	-
84	"	0.30	0.18	0.10	0.02	"	-
85	"	0.40	0.22	0.13	0.01	"	b-3
86	"	0.58	0.22	0.13	0.02	"	b-1
87	S-295	0.54	0.32	0.18	0.03	"	b-2
88	S-296	1.65	0.48	0.27	0.47	"	d
89	S-301	0.67	0.26	0.15	0.07	"	-
90	"	0.50	0.20	0.10	0.03	"	-
91	"	0.52	0.20	0.10	0.01	"	b-1
92	S-302	0.82	0.24	0.13	0.07	"	-
93	S-303	0.45	0.22	0.14	0.03	"	-
94	"	0.66	0.24	0.15	0.05	"	-
95	S-305	0.43	0.23	0.11	0.02	"	b-2
96	"	0.44	0.24	0.13	0.03	"	-
97	S-306	0.44	0.23	0.14	0.03	"	c-1
98	"	0.74	0.25	0.13	0.06	"	-
99	S-307	0.56	0.28	0.14	0.07	"	-
100	S-308	0.52	0.21	0.11	0.03	"	-
101	S-309	0.64	0.21	0.11	0.04	"	-
102	"	0.67	0.29	0.14	0.09	"	-
103	S-310	0.49	0.22	0.11	0.04	"	-
104	"	0.75	0.28	0.15	0.09	"	-
105	"	0.40	0.27	0.14	0.03	"	a-1
106	"	0.43	0.41	0.22	0.04	不明	b-2
107	"	0.40	0.26	0.12	0.02	両側	b-2
108	S-315	0.35	0.24	0.16	0.01	不明	b-2
109	"	0.29	0.27	0.15	0.01	両側	b-2
110	"	0.40	0.23	0.13	0.01	"	b-2
111	"	0.31	0.21	0.09	0.01	不明	b-2
112	S-317	0.50	0.24	0.14	0.04	両側	-

番号	出土 遺構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損	番号	出土 遺構	測 値 (cm)			重量 (g)	穿孔痕	欠損
		長さ	幅	穴径						長さ	幅	穴径			
113	S-317	0.50	0.26	0.18	0.04	両側	—	137	S-328	0.52	0.25	0.16	0.04	両側	—
114	S-318	0.53	0.28	0.13	0.05	#	—	138	S-329	0.50	0.25	0.13	0.04	#	c-1
115	#	0.31	0.24	0.12	0.01	不明	b-2	139	S-332	0.52	0.23	0.13	0.04	#	—
116	S-319	0.48	0.22	0.14	0.02	両側	b-2	140	#	0.31	0.25	0.13	0.02	#	—
117	#	0.52	0.21	0.10	0.01	#	b-1	141	S-337	0.63	0.20	0.09	0.04	#	—
118	S-321	0.57	0.21	0.11	0.04	#	—	142	S-338	0.85	0.26	0.13	0.08	#	—
119	#	0.61	0.28	0.16	0.06	#	—	143	S-339	0.67	0.23	0.15	0.04	#	—
120	#	0.29	0.28	0.17	0.01	#	b-2	144	#	0.56	0.21	0.13	0.04	#	—
121	S-323	0.44	0.23	0.13	0.03	#	a-1	145	S-340	0.74	0.22	0.11	0.05	#	c-1
122	#	0.73	0.29	0.15	0.04	#	b-1	146	#	0.53	0.35	0.20	0.04	#	b-1
123	#	0.61	0.22	0.13	0.02	#	b-2	147	S-341	0.76	0.22	0.12	0.05	#	—
124	#	0.47	0.25	0.12	0.02	不明	b-2	148	S-352	0.74	0.27	0.15	0.05	#	—
125	#	0.56	0.23	0.12	0.02	両側	b-1	149	S-379	0.62	0.25	0.13	0.06	#	—
126	#	0.49	0.35	0.35	0.04	不明	b-2	150	#	0.52	0.24	0.14	0.05	#	—
127	#	0.48	0.22	0.14	0.03	両側	c-1	151	#	0.58	0.24	0.17	0.05	#	—
128	S-325	0.56	0.27	0.17	0.06	#	—	152	S H-1	0.50	0.24	0.15	0.02	#	b-1
129	#	0.42	0.26	0.13	0.04	#	—	153	SH-1C	1.26	0.30	0.20	0.16	#	—
130	#	0.48	0.22	0.22	0.01	不明	b-2	154	#	0.58	0.21	0.12	0.04	#	c-1
131	S-326	0.70	0.32	0.17	0.07	両側	—	155	#	0.58	0.22	0.10	0.04	#	—
132	S-327	0.56	0.26	0.15	0.06	#	—	156	S H-1	0.59	0.24	0.13	0.05	#	—
133	#	0.60	0.22	0.12	0.04	#	—	157	#	0.47	0.19	0.12	0.02	#	—
134	#	0.51	0.23	0.16	0.04	#	—	158	S H-1	0.24	0.22	0.80	0.01	不明	b-2
135	#	0.51	0.25	0.14	0.04	#	—	159	Na不明	1.31	0.24	0.16	0.10	両側	—
136	#	0.36	0.25	0.18	0.01	不明	b-2	160	#	0.58	0.23	0.14	0.04	#	—

表 6 勾玉・小玉・未成品計測表

番号	種 別	出土 遺構	計 測 値 (cm)					重量 (g)	穿 孔	色 調	図番号 第29図
			A	B	C	D	E				
1	小玉未成品	S-362	0.45	0.35				0.08		濃 緑	
1	小 玉	湿地帯	0.49	0.36	0.27			0.27	両側	濃 緑	15
2	#	S-102	0.48	0.27	0.28			0.28	両側	淡 緑	16
3	#	S-282	0.49	0.47	不可			0.08	両側	緑	
4	#	S-351	不可	不可	不可			0.03	—	緑	
5	#	Na不明	0.47	0.23	0.25			0.07	両側	淡 緑	17
1	勾玉未成品	湿地帯	1.21	0.88	0.76		0.57	0.34		濃 緑	8
2	#	S-195	1.05	0.72			0.52	0.65		緑	7
3	#	S-275	1.02	0.69		(0.09)	0.37	0.60		濃 緑	9
4	#	S-314	1.58	1.31			0.71	2.96		淡 緑	6
1	勾 玉	湿地帯	1.14	0.76	0.48	0.27	0.45	0.61	片側	濃 緑	10
2	#	S-002	0.92	0.67	0.46	0.26	0.21	0.32	両側	淡 緑	11
3	#	S-112	不可	不可	不可	不可	不可	0.12	両側	緑	14
4	#	S-163	0.72	0.58	0.29	0.15	0.26	0.19	片側	緑	13
5	#	S-319	0.96	0.64	0.51	0.28	0.29	0.32	両側	淡 緑	12
6	#	S-388	不可	不可	不可	0.33	不可	0.11	—	淡 緑	

堀江十樂遺跡

堀江十楽遺跡

堀江十楽遺跡の調査は、県営竹田川右岸土地改良事業に伴う緊急調査として、昭和61年度、63年度の2ケ年に分けて実施した。水路予定地に限定して発掘調査を実施し、調査面積は昭和61年度が1050㎡、昭和62年度が900㎡であり、いずれも東西に長い幅3mの試掘溝である。遺跡は、竹田川右岸の自然堤防上に立地する現在の堀江十楽集落の一角であり、今回の調査区は集落の北側に広がる水田地域である。なお、地理・歴史的環境の詳細は下屋敷遺跡第I章を参照してほしい。

調査区は、南からA～F区とし、昭和61年度がA～D、昭和62年度がE・F区である。

1. 土層

A区での堆積状況が標準的な土層である。1層は耕作土で、20～30cm程度の厚さを持ち、2層は淡黄褐色土でわずかに粘性があり、20～30cm程度の厚さで堆積している。3層は、暗灰褐色粘質土で遺物包含層である。4層は淡黄灰褐色粘質土で地山層である。1～3層は、A～D区には共通して認められ、3層と4層間にC区では青灰色粘質土が、D区では暗茶褐色ビート総層が挟まれていた。特にD区の4層上面はA区よりやや低く、北側に向かって緩やかに傾斜し、北側は湿地帯を形成していたと思われる。さらに北へ150m程のIにあたるE・F区では、30～40cmの表土、客土の下にすぐ暗茶褐色ビート層が30～35cm堆積している。その下に暗灰色粘質土があるがA区の3層には対応しない。その下は砂層で水が流出した。

2. 遺物 (図版20)

遺構は確認できなかったが、遺物の集落地点がかなり偏っており、3層内で納まる遺構があった可能性もある。

遺物は土器片のみであり、時期は弥生時代終末と古墳時代初頭のものである。少量であるため詳細は明らかではないが、主なものについて述べておく。

1は、有段口縁（二重）壺である。口縁部文様帯びに櫛状工具による波状文が施され、胴部肩部分にも同様の波状文が施されている。肩部から頸部にかけては横方向のナデ調整が、胴下半分はハケによる調整が施されている。他に3点有段口縁の破片が出土しているが、口縁部文様は凹線文である。2は、広口壺で、口縁端部は面取りされている。全体はハケによる調整がなされ、肩部分に小さな穿孔が認められる。器台は計4点出土しているが、完形品はない。脚部分は内湾するものが主である。

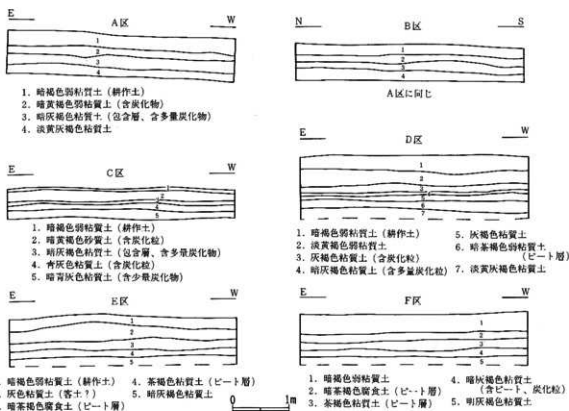
これらの時期の問題であるが、2の広口壺は古式土師器の初頭に位置づけられると考えられる。これを弥生時代終末と理解する場合もあろうが、ほかの遺物と共に包含層出土のため、一定類例から考えて、古墳時代初頭としておく。二重口縁壺に関しても同様であるが、1の波状文を持つ土器は、肩部から頸部にかけて施文が施され、口縁下端に押捺がみられるなど畿内で同様の例が庄内式の古い段階に認められる点で、広口壺と矛盾しない。以上の点から堀江十楽遺跡の時期としては古墳時代初頭と位置付けられよう。



第42図 堀江十束遺跡調査区域図 (1/5000)

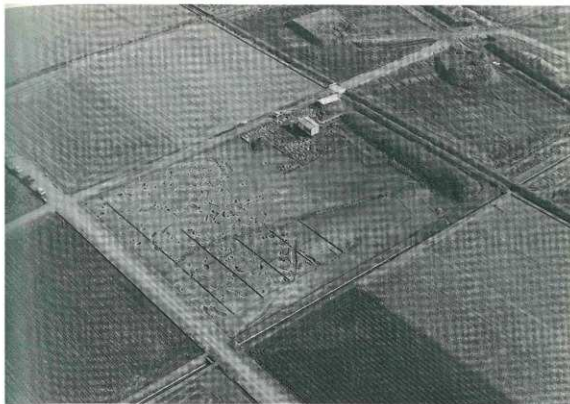
3. まとめ

今回の調査では、現在の堀江十楽集落のすぐ北から、さらに北へ 475mの範囲に及んだが、遺物の出土したのは、最も集落に近いA・C区のみであった。土層堆積状況も含めて考えると、遺跡の中心部は現集落の下であり、自然堤防はそれ以上の広がりをもちことなく、北側に広い潟湖のようなものが存在していたと考えられる。遺跡の営まれた古墳時代初頭においては、この潟湖はむしろ湿地帯として水田等に利用されていた可能性も高いが、今回の調査ではその痕跡を見出すことは出来なかった。また、芦原温泉のすぐ南側で、水路工事の際に石鉄が多数出土したため、E区・F区付近から北側にもう一つの自然堤防ないし微高地が存在し、遺跡が存在していたと考え調査したが、E・F区は近年まで湿地帯として残っていたらしく、遺跡の立地している自然堤防ないし微高地はもっと北側、つまり芦原温泉のすぐ南あたりまでで終わっていたと思われる。本遺跡で出土したいわゆる月形式と称される土器群については、弥生時代終末とするか古墳時代初頭とするかは研究者によって意見の分かれるところである。特に本県においては畿内第V様式併行の土器群と共にその様相が明らかではない。今回の調査での土器量は少ないが、畿内の様相を持つ土器が見られる点など、今後に向けて好資料を得たといえる。



第43図 堀江十楽遺跡各区土層図

図 版



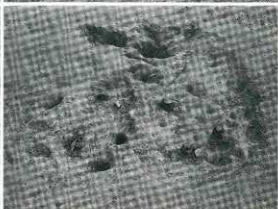
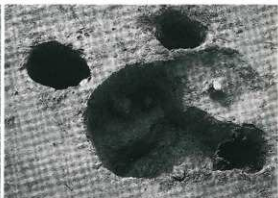
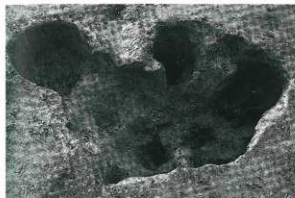
(1) 下屋敷遺跡全景 (61年度分)



2) 下屋敷遺跡近景 (北測湿地帯から)



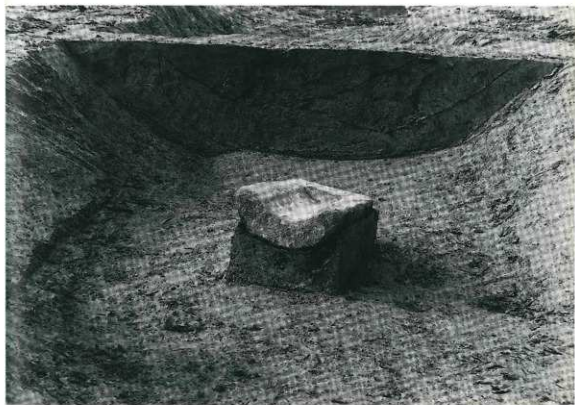
(1) 住居址（玉作り工房址）全景



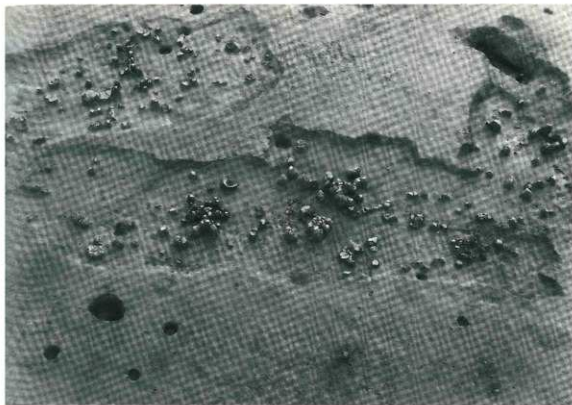
(2) 柱 穴・工作ビット



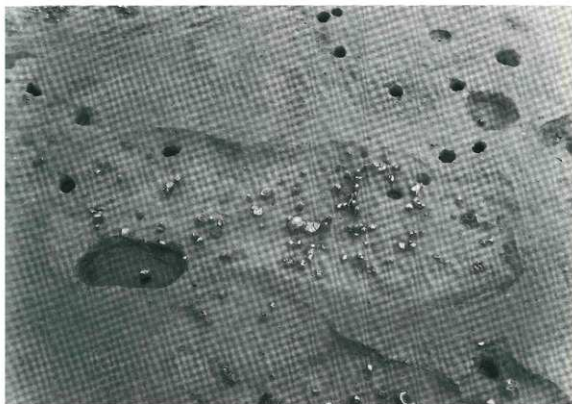
(1) SD-001全 景



(2) 銅鐸鑄型出土状況



(1) S-303



(2) S-305



(1) S-193



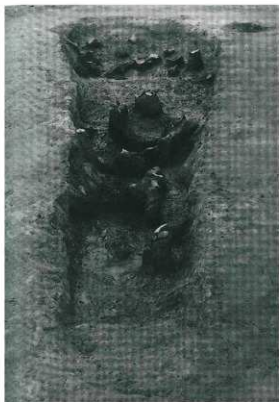
(2) S-197



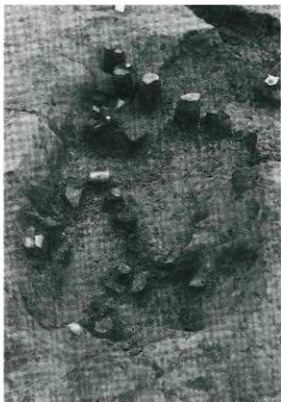
(3) S-176



(4) S-296



(1) S-112



(2) S-268



(3) S-280



(4) S-294



(2) S-105

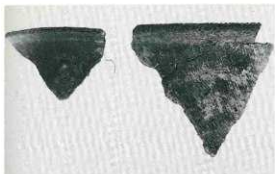


(1) S-220

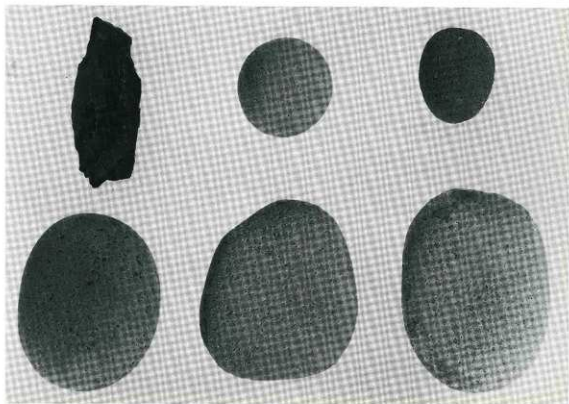
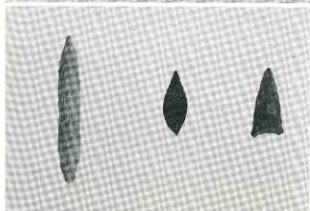




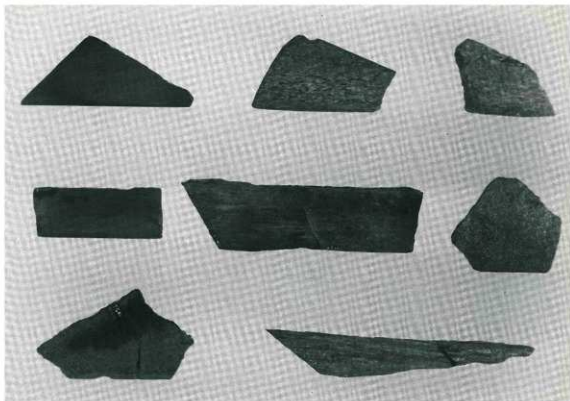
SD-001出土土器(1)



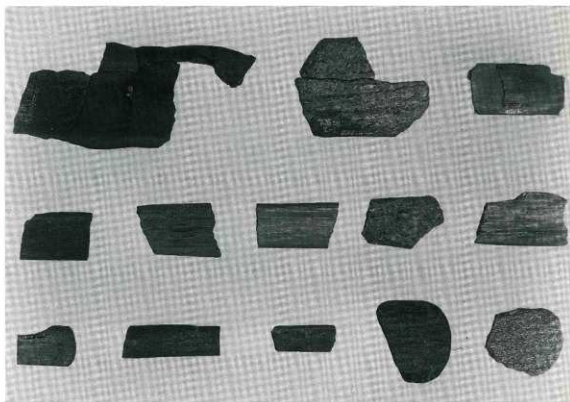
SD-001出土土器(2)



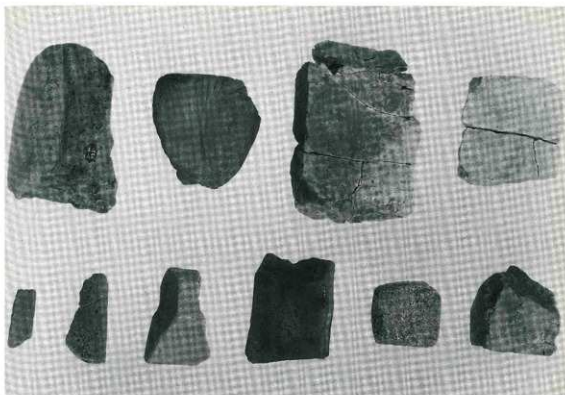
遺構出土石器



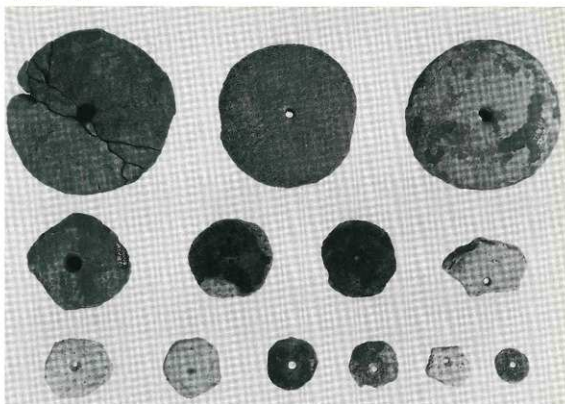
(1) 玉 鋸



(2) 玉 鋸



(1) 砥石



(2) 有孔円盤状製品